

〈解答〉

① 1 イ

2 「例」大事に育ててきた苗がか細く見えたため、寒い外の世界で苗が生きていけるのか(36字)

3 I ア II すがすがしい

配点 ① 2、3 IIは各3点、他は各2点 10点満点

〈解説〉

①

1 実際に田植えがうまく進んでいるという実感から、美代さんの「段取り八分」という言葉を理解できた「ぼく」たちは、「よーし！」という言葉とともに、スイッチが入ったように気持ちを新たにして作業を再開したのである。

2 自分たちの子どものように大事に苗を育ててきた「ぼく」たちは、田んぼに植えられた苗がか細く見えたため、今まであたたかいハウスの中にいた苗たちが、急に寒い外の世界につれてこられてもしかると育つことができのか不安になったのである。この部分を「〜という不安を持った。」という後の言葉に合うように、制限字数内にまとめる。

3 田んぼの水が鏡になり、田んぼの水面には青空が映し出されている。この光景をあぐり先生は田んぼの神様がくれた「ぼく」たちへのおくりものと表現したのである。よって「I」に入るのはアが適当である。このときの「ぼく」たちは、田植え体験がうまくいったという達成感や、空をおおっていた雲のかたまりが風で流され、太陽の光がみちた青空のように「すがすがしい」気持ちであると読み取ることができる。